

人はみな、孤独な旅人。

木枯し紋次郎

上州新田郡三日月村の

貧しい農家に生まれたという

十才の時に故郷を捨て

その後一家は離散した

と伝えられる

天涯孤独の紋次郎が

どういう経路で

無宿渡世に入ったかは

さだかでない

帰って来た
木枯し紋次郎

市川崑監督作品
中村敦夫主演
笹沢左保原作

主題歌「だれかが風の中で」作詞 和田夏十 作曲 小室等 唄 上條恒彦

35mm カラー・スタンダード版
製作 = フジテレビ/C.A.L
配給 = 東宝株式会社

●解説

「木枯し紋次郎」は(市川崑劇場)と銘打って、一九七二年から翌年にかけてテレビ放映された傑作時代劇シリーズである。その一世を風靡した紋次郎が、二十年を経た今、フアンの熱望に応えて、35ミリフィルムによる新作長編として復活。テレビ作品の枠をはるかに越える出来栄に、劇場での特別公開のはこびとなつた。

物語は前作から五年後。死んだと思われていた紋次郎は木曾の杣人(木こり)に救われていた。一度は堅気に転じた紋次郎だが、やがて再び、渡世人の世界に引き戻されていく。

原作者の笹沢左保がオリジナル・シノブシスを執筆。演出はもちろん巨匠・市川崑監督主演の中村敦夫は、この新作のためにトレーニングを重ね万全の構えでこの撮影に臨んだ。共演は坂口良子、加藤武、岸部一徳、日下武史ら、市川作品にはおなじみの顔ぶれが中心。

市川監督ならではのシャープな演出、端正な映像美、凝った殺陣——いっそう磨きがかかった新しい紋次郎の世界を堪能してほしい。

なお、一部に新撮ショットを加えた懐かしいオーディオ・ブッキング前作の名場面のステイクルを散りばめたエンディング・タイトル、ドルビー・ステレオで蘇った名主題歌は、フアンには最高のスーパー・ビートルとなるだろう。(Y・M)



●あらすじ

生国は、上州新田郡三日月村の渡世人木枯し紋次郎が壮絶な闘いの末、木曾川の深い谷底に消えて五年の歳月が流れた。木曾川沿いの山林で、伐採の仕事をする男たちの中に、紋次郎の姿があった。杣頭の伝吉に救けられた紋次郎は、一人前の杣人になつていった。

ある夜、伝吉の一人息子、小平次が渡世人姿で現われた。消息が分からずにいた兄との再会に感涙する妹のおたみ。だが、伝吉の反応は違った。亡き上江田の十兵衛の弟分でその縄張りをそっくり継承し東上州一帯を支配している貸元・木崎の五郎蔵の身内になつたとうち明ける小平次を、声を荒らげて追い出してしまったのである。

木崎の五郎蔵一家は、上州の貸元に相応しく、大勢の子分衆を抱えていた。また、一家には十兵衛の養女だつたお真知が客分待遇で迎えられていた。

その頃、上州ではお上が、絹・糸・真綿の取引に運上金を取り立てようとしていた。五郎蔵は、桐生の機元、富岡屋惣左衛門らと組んで農民を煽りたて、一揆を起こさせて運上金制度を中止させようとしていた。騒ぎを恐れてお上が制度を中止すれば織物問屋の旦那衆から、莫大な礼金が入り、こちらの首謀者を小平次にしておけば自分にはお咎めはないと考えていたのだ。

上州で不穏な動きが始まつた頃木曾では伝吉が事故で大怪我をして床についてしまった。伝吉は紋次郎を枕元に呼び、もう一度草鞋を履いてくれと懇願した。「小平次を連れ戻してもらいたい。……」と。紋次郎に想いを寄せるおたみは兄を心配しながらも、「お父つつあんに義理を果たす必要はない」と言つて引き止める。「あつしは二度と草鞋は履きません。」紋次郎はおたみにそう告げる。

翌日、まだ朝霧の晴れない中山道を、楊枝を銜え道中姿に身を固め、一人急ぐ紋次郎の姿があつた。

●スタッフ

企画……能村庸一
プロデューサー……松前洋一
脚本……本間信行
原作……小橋 伸介
脚本……市川 崑

監督……市川 崑
撮影……五十畑幸勇
美術……村木 忍
録音……音路 禎一
調音……大橋 鉄矢
編集……下村 一夫
制作担当……手塚 昌明
制作補……藤田 知久
殺陣……美山 晋八
スチール……橋山 直己
宣伝担当……上野 陽一

企画協力……榎本喜久枝
音楽……谷川 賢作

●キャスト

木枯し紋次郎……中村 敦夫
お真知……坂口 良子
木崎の五郎蔵……岸部 一徳
木曾の伝吉……加藤 武
弁天の小平次……金山 一彦
おたみ……鈴木 京香
お常……牧 よし子
浅香 盛助……石橋 蓮司
上江田の十兵衛……小林 昭二
上江田の八兵衛……中原 丈雄
富岡屋惣左衛門……神山 繁
虎之助……尾藤イサオ
源八郎……井上 博一
熊太郎……宇治川 理音
多助……永妻 圭
酔いどれ浪人……上條 恒彦
掛け茶屋の亭主……日下 武史

主題歌「だれかが風の middle」
作詞……中野 夏十
作曲……小室 等
唄……上條 恒彦

キングレコード

(連日)

11:30 1:30 3:30 5:30 7:30

有楽町・東宝映画街

シヤンテシネ1 (3591) 1511

特別鑑賞券 1,400円
好評発売中 当日一般1,800円 学生1,500円
シヤンテシネ窓口及び都内プレイガイド、チケットぴあ、チケットセゾン他にて絶賛発売中!!

11月20日土 → 12月3日金
都内独占ロードショー